令和　　年度 製品化・事業化支援事業

製品化支援事業申込書 兼 事業計画書

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所　理事長　殿

企業名

代表者

連絡担当者

〒

所在地

TEL 　　FAX

E-mail

　応募に当たっては、事前に当所職員と技術内容について相談してください。

自社で開発する内容と開発課題解決に必要となる当所の試験内容を具体的に記載する必要があります。

１　事業計画の概要

（１）テーマ名・要約説明

テーマ名、新規又は継続の（　）欄に○印、要約説明を記載願います。

なお、採択された場合、テーマ名と企業名は公表されます。簡潔に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| テーマ |  | 新規（　　）・継続（　　） |
| 要約説明 |  | |

（２）申込区分

支援を希望する申込区分の**希望欄**へ「○」を記入して下さい。**（１つのみ）**

Ａ又はＢを選んだ方のみ、**「申込区分の変更の可否」**に係る質問にお答えください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【申込区分】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | 申　込　区　分 | **希望** | **申込区分の変更の可否**（質問） | | Ａ | ドラフトチャンバー付きの製品開発室の使用  **（今回募集なし）** |  |  | | Ｂ | ドラフトチャンバーの無い製品開発室の使用**（＊）** | 〇 |  | | Ｃ | 製品開発室を使用せず、通所で支援  **（今回募集なし）** |  |  |   **＊　「Ｂ ドラフトチャンバーの無い製品開発室」では、原則的に化学物質の使用はできません。** |

２　申請者の概要

（１）会社概要

下記の内容に関係する資料を添付している場合は、その旨記載して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【創業年月日】　　　　　年　　月　　日  【資本金】　　　　　　　　　　　　　円  【常用従業員数】　　　　　　　　　　人  【仕入先（仕入れ上位３社）】  1.　　　　　　　　　2.　　　　　　　　　3.  【得意先（売上上位３社）】　（　％）は全体に占める売上割合を記入  1.　　　　　（　％）　2.　　　　　（　％）　3.　　　　　（％）  【主要製品 又は 主要業務】  【保有している主な研究開発用の設備・装置（・商品名）】  【沿革】  【直近２期の経営実績（状況）と今期の見込み】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 区　分 | 前々期 | 前期 | 今期（見込み） | | 売上高（千円） |  |  |  | | 経常利益（千円） |  |  |  | | 経営実績に係る説明 |  |  |  | |

（２）過去の主な履歴

研究開発を行う主担当者の簡単な略歴や過去の製品開発事例等を、差し支えのない範囲で記載して下さい。

また、過去に表彰や補助金を受けたことがある場合は、その旨記載して下さい。

|  |
| --- |
| 【研究開発の主な担当者の略歴、過去に開発に携わった技術・製品 等】  【本事業に関して、過去に受けた又は現在受けている「表彰」「補助金」「認定」などの公的支援等】 |

（３）当所又は産業技術センターおよびKAST（神奈川科学技術アカデミー）の利用状況

当所又は産業技術センター、KASTの利用状況（技術相談・依頼試験・受託研究、担当職員名等）について書いて下さい。ない場合は、「なし」と書いて下さい。

|  |
| --- |
|  |

３　技術開発内容

（１）技術開発の必要性 及び 開発しようとする技術・製品の概要と新規性・優位性

①（自社製品も含めて）既存の技術・製品の現況と問題点、開発の動機・必要性などを記載して下さい。

②開発しようとする技術・製品の概要（仕様も含めて）を記載して下さい。

③新規性、あるいは、新しい要素技術の付加による従来技術の改良点等についてアピールして下さい。

④競合する技術・製品に対する技術的優位性（他の技術では容易に実現できない長所や、他社が容易に真似できない点等）についてアピールして下さい。

⑤当該技術に関して、現在までに登録・出願している特許等の知的財産がある場合は、その概要と番号を記載して下さい。

**具体的な数値データを用いて記載して下さい。**

|  |
| --- |
| 【（自社製品も含めて）既存の技術・製品の現況と問題点、技術開発の動機・必要性について】  【開発しようとする技術・製品の概要（仕様も含めて）】  【新規性、あるいは、従来技術に対する改良点】  【競合する技術・製品に対する技術的優位性】  【当該技術に関して、現在までに登録・出願している特許等の知的財産と概要】 |

（２）開発の具体的内容

　　　　①この事業に応募する前までの開発の現況、又は、基礎となる実験・研究、②開発の到達目標値（目指す性能）、③目標に対する具体的な技術的課題、④解決のために予定している実施方法等を、明確に記載して下さい。

　　　　特に1年で自社が開発する内容、ならびに到達目標値を達成するために利用する当所の依頼試験等の内容をしっかり記載してください。

**具体的な数値データを用いて記載して下さい。**

|  |
| --- |
| 【現在までの開発の現況、到達目標値(目指す性能)】  【技術的課題、解決のための予定実施方法、開発の日程等】  【開発のために利用する当所の依頼試験、機器使用等の内容（その理由）】 |

４　事業化計画

①市場の現況・成長性と事業内容の適時性、および、開発製品のもつ優位性（価格・開発コスト、営業力・資金力、デザイン・ラインナップの特色等）についてアピールして下さい。

②事業化に向けた生産体制、営業計画（販売体制、商品価格、売上予測等）について、計画内容を記載して下さい

③この支援決定後３ヶ年の事業実施計画を記載して下さい。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 【市場の現況・成長性と事業内容の適時性、開発しようとする技術・製品の優位性】  【事業化戦略　生産体制・営業計画（販売体制、想定ユーザー、商品価格、売上予測等）】  【支援決定後３ヶ年の事業実施計画】   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 年度 | 四半期 | 事業実施計画（内容） | 事業実施段階 | | R | １・四 |  |  | | ２・四 |  |  | | ３・四 |  |  | | ４・四 |  |  | | R | １・四 |  |  | | ２・四 |  |  | | ３・四 |  |  | | ４・四 |  |  | | R | １・四 |  |  | | ２・四 |  |  | | ３・四 |  |  | | ４・四 |  |  |   **＊　事業実施段階欄には、「基礎研究」「技術開発」「応用開発」「製品化」「商品化」の各段階から記入願います。** |

**＊　必ず（様式１－別表）を添付してください。**